

蕨 広報WARABI 7

2010/平成22年
わらび・706

- 平成22年7月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 6月1日現在人口：72,051人 前月比 +18人
男 36,823人 女 35,228人
世帯数：35,817
人口密度：14,127人/km²



お願い事かなうといいな！ ちょっと早めに七夕の準備

さくら保育園のらいおん組（5歳児クラス）の園児30人が、7日の七夕の日に向けて一足先に飾り付けの準備をしました。「けーきやさんをやりたいな」、「れたすがたべられますように」と、覚えてたの文字で書いたお願い事や将来の夢、みんなかなうといいですね。

——— 目 次 ———

- 障害者の夜間保護事業…… 2
- 市長マニフェストの検証… 4
- まちの話題…………… 6
- このまちに暮らして…… 6
- ほっと・エッセイ………… 7
- 子どもクラブ…………… 7
- 輝いていま ひと …… 8
- ぶらっと・わらび・小さな旅… 8

実施施設はハート松原

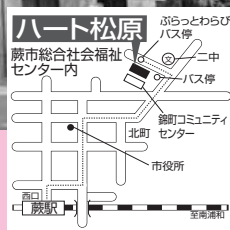


▲▶障害者の状態に合わせて、お風呂は一般浴と機械浴から選べます。

▼居室には8畳のスペースと介護用寝台、テレビ、冷暖房を完備。



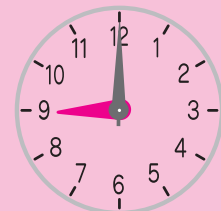
錦町3丁目にある総合社会福祉センター。夜間保護事業は同施設内にある知的障害者更生施設「ハート松原」で実施をしています。



夜間保護は午後4時から翌日午前9時



翌日



障害者の夜間保護を開始

近藤芳江(仮名)さんには、最重度の知的障害と肢体不自由を抱えるお子さんがいらっしゃいます。寛子(仮名)さん、特別支援学校に通う17歳です。先月、初めて障害者夜間保護事業を利用しました。今年度の新規施策として介護者のリフレッシュや安心を広げようと始まった同事業。利用者の体験を通じてご紹介します。

6 月1日、午後4時―。

母・芳江さんの押す車いすに乗せられて、寛子さんが知的障害者更生施設・ハート松原にやってきました。

職員に迎えられた、8畳の和室を備えた日常生活訓練室。ここが、寛子さんの一晩泊まる部屋です。芳江さんは落ち着いている娘の様子にまづは一安心。娘を預け、そつと施設を後にしました。

向 院。こちらには芳江さんのお母さんが入院していま

す。お母さんは昨年末、突然、くも膜下出血で倒れ、最近ようやく意識が回復したばかりでした。その間、芳江さんは寛子さんが特別支援学校に通っている合間を縫って病院を訪ねる日々。障害者夜間保護事業を利用したきっかけは、病床の母をゆつくりと見舞いたい。そんな思いからでした。

病 室に着くとお母さんはベッドに横になっていました。意識が回復したとはいえ、まだもうろうとしている状態。芳江さんは、お母さ

んの手を優しく握り、顔に化粧水を塗ってあげるなど、時間の許す限り、親子2人だけの時間を過ごしました。

こうして、心ゆくまでお母さんのお見舞いができた芳江さん。病室を一步出れば、娘を案じる母親です。「体を満足に動かすことも、自分の意思を伝えることもできない寛子は、独りでだいじょうぶだろうか」。一抹の不安を抱えながら眠りに就きました。

翌 朝。9時のお迎えより少し早めに着くと、寛子さんは朝食の最中でした。お母さんの姿を見るなり満面の笑顔。不安は吹き飛びました。

食事や入浴の介助はもちろん、後で分かったことですが就寝のとき、安心して眠れるように、職員が添い寝してくれたとのこと。また、早朝6時に目が覚めてしまった寛子さんのために、中庭の散歩にも連れ出してくれたそうです。きめ細やかなサービスに、芳江さんは感謝の気持ちでいっぱいになりました。

「たくさん障害者を受け入れる入所施設と違い、マンツーマンで対応してくれるこの事業は安心感が違います。職員の心遣いには頭が下がる思いですが、今後は、万一のときでも利用できるような対応も図れるとうれしいですね」。

ご利用ください

知的障害者
更生施設
ハート松原

こすぎ まさあき
小菅 正明 所長



障害者夜間保護事業は、ハート松原やレインボー松原の利用者の皆さん、15歳以上の知的障害者をお預かりし、食事、入浴、排せつほか、必要な支援を行っています。実施にあたっては職員2名を配置し、常にマンツーマンで対応。また、初めて利用する場合には事前に面接を行い、障害の状態を確認するなど、安心して利用できるように努めています。

ご利用にあたって

- ・まずは福祉総務課障害者福祉係（☎433-7754）で利用登録をしてください。登録後、利用したい日の10日前までにハート松原（☎432-6610）へお申し込みください。
- ・1回につき2泊まで利用できます。
- ・送迎は行っていません。



項 目	期 間	実施 状況	取り組み内容
3つの改革			
●連続値上げ計画（国保税・下水道料金・家庭ゴミ有料化）の中止	すぐ実行	◎	蕨市行政経営戦略プラン（平成17年～21年）の値上げ計画を凍結。プラン終了後の22年度も、値上げせず据え置きへ。
●ハコもの、ムダ遣いの一掃 ●蕨駅西口再開発の情報公開と 市民参加で再検討	2年以内	○	第1工区は市負担1億円程度の削減や情報公開の徹底、第2・3工区は、市民検討委員会からの報告を踏まえ、21年8月に設置した市内検討委員会で「市負担の大幅な軽減」に向け、見直し案の検討中。
●中央第一土地区画整理の 抜本的見直し	4年以内	○	21年2月、区画整理によるまちづくりから都市計画による新たなまちづくりへ見直しの方向性を決定。現在、中央第一地区の新たな整備計画に向けて地区権利者の皆さんと協議中。
●長期政権のしがらみからの脱却 （市政検証プロジェクトを設置）	すぐ実行	◎	市政検証委員会を設置し、管理職数や土地開発公社、公共施設の維持管理、中央第一土地区画整理事業など、市政の問題点を検証。20年4月、今後の対応方針を明記した報告書をまとめ、現在、改革を進行中。
あったかプラン			
ムダ遣いの一掃、経費節約			
●市長給与30%削減・退職金50%削減	すぐ実行	◎	平成19年9月、市長給与30%、退職金50%削減の条例を改正。4年間で約2,350万円を削減。
●3台の高級公用車を普通車1台に	すぐ実行	○	20年1月、市長公用車（トヨタ・セルシオ）を最低売却価格180万円でヤフーオークションにかけ、約271万円で売却。
●不要な土地の売却 （4年間で累計2億円）	4年以内	○	19年は6件、462.81㎡、20年は4件、165.19㎡、21年は2件、75.29㎡を売却。合計売却額は約1億830万円。目標2億円に対する進捗率は54.2%。
●肥大化した管理職の20%削減、 人件費の抑制（4年間で累計2億円）	4年以内	◎	22年4月現在、管理職は20%削減（112人から90人）。人件費は2年間の累計で約4億300万円、目標に対して202%を削減。
安全に暮らせる蕨へ（犯罪発生率県内ワースト2位からの脱却、防災対策の強化など）			
●防犯灯を4年間で300基新設	4年以内	◎	21年度までに計270基を設置。22年度は75基を設置予定。22年度末で345基設置予定となり、目標300基に対する進捗率は115%。
●防犯ボランティアへの支援強化	すぐ実行	◎	防犯ボランティア団体への物品費購入費補助制度を創設（防犯ジャンパーなどの購入経費の3分の2を補助・上限10万円）。19～21年度実施済み。
●すべての小・中学校を4年間で耐震化	4年以内	○	20年度は東小・西小・中央東小、21年度は南小・塚越小・一中で耐震化工事を実施。22年度は一中、二中、東中で実施予定。
●浸水地域に雨水調整池設置	4年以内	○	20年度の合流地域浸水対策基本調査の検証内容を基に、21年度は事業認可申請、22年度は設計委託を実施。
子育て支援を抜本的に強化（安心して子育てできる蕨の実現）			
●中学3年生までの医療費無料化	2年以内	◎	現在、入院は中学3年生まで、通院は小学校卒業まで無料化を拡大。本年10月より、通院も中学3年生まで拡大。
●小学校全学年で35人学級を実施	2年以内	○	22年度から小学3・4年生を対象に35人程度学級を実施。
●保育時間の延長 （平日は午後8時、土曜日は午後5時）	2年以内	○	21年度から全保育園で平日午後7時まで、土曜日はさくら保育園で午後5時まで延長保育を実施。
●幼稚園児補助金を4万円に引き上げ	2年以内	◎	21年度に5歳児の幼稚園児補助金を28,000円から34,000円に増額。22年度からは更に40,000円に増額。
健康に暮らせる蕨へ（お年寄り、障害のあるかたに優しい蕨の実現）			
●蕨駅のエレベーター設置（西口・東口）	2年以内	◎	21年度は西口、22年度は東口に設置。
●在宅介護手当の創設	2年以内	◎	22年度から、要介護度4以上で施設サービスを利用していない高齢者を対象に、月額5,000円を支給（所得制限あり）。
●障害者の負担軽減、グループホーム ショートステイ設置など	4年以内	○	22年度からハート松原において、障害者の夜間保護事業を開始。
●蕨市立病院の再生計画策定 （午後の外来、小児科救急の充実など）	4年以内	◎	21年3月「蕨市立病院経営改革プラン」を策定し、改革を推進中。一部午後の外来診療ほか、地域医療連携担当を設置して、医療の充実を図る。
元気な商店街、にぎわいのある蕨づくり・市民参加のまちづくり			
●商店街の空き店舗活用 （チャレンジショップ、子育てサロンなど）	4年以内	△	22年5月「元気な商店街づくり検討委員会」が提言書を提出。22年度に新たな中心市街地活性化基本計画（案）の認定を国から受ける予定。
●旭町公民館を現在地で建て替え （NPO・ボランティアセンター併設）	4年以内	☆	蕨駅西口再開発の対応方針並びに地元の皆さんの意向を踏まえ、現在地での建て替えではなく、西口再開発第1工区内に移転。
●みんなでつくる蕨基本条例の制定	2年以内	△	地域力発揮プラン（案）の中に推進項目（市民参画・協働を推進する条例の制定）として位置付け。

※すぐ実行＝平成19年度に実行・着手 2年以内＝平成21年度までに実行・着手 4年以内＝平成23年度までに実行・着手



あったか市政前進へ

市長マニフェストは「実施」、「一部実施・着手」合わせて約87%

よりたかひで お 頼高英雄市長が就任して4年目を迎えた現在、日本一の「あったか市政」を目指し、皆さんとお約束した公約（マニフェスト）は、着実に進められています。ここ4、5年では、市長マニフェストの進みぐあいを公表します。

マニフェスト実施状況(全23項目)

◎…実施済み	11項目
○…一部実施・着手	9
△…検討中	2
☆…変更	1

頼高市長が就任して、先月で3年が経過しました。平成19年に掲げた市長マニフェストのこれまでの実施状況は、左表のとおりで、全23項目のうち、「実施済み」が昨年より6項目増えて11項目、「一部実施・着手」と合わせると20項目となり、達成率は昨年より9ポイント増の約87%となっています。

厳しい財政状況ではありますが、日本一の「あったか市政」を目指し、今後も、こども医療費無料化の拡大や小・中学校の耐震化、防犯灯の増設、蕨駅東口のエレベーター設置など、市長マニフェストを着実に推進し、魅力あるまちづくりを進めていきます。

マニフェスト推進し
魅力あるまちづくり

——市政にひと言——



▲今年度から、小学3・4年生を対象に35人程度学級を市独自に実施（写真は北小学校3年2組の様子）。



▲こども医療費無料化の拡大で、今年10月から通院を中学3年生まで拡大（写真は市立病院総合受付）。



▲昨年度、蕨駅西口にエレベーターを設置（写真は完成記念式典当日の様子）。今年度は東口に。



やまだ あきこ
山田 明子さん
北町5丁目

独自の35人学級に感銘

以前、教員をしていました。国の基準が40人学級であるなか、不足する費用を負担してまで、独自で小学3・4年生の35人程度学級を始めたことを知り、「教育に力を注いだ決断だな」と思いました。すぐには効果が出ないかもしれませんが、1年、2年と過ごすなかで心の豊かさなど、目に見えにくい効果があるはずですね。ぜひ継続してほしいですね。



しもくら たまこ
下村 多恵子さん
塚越2丁目

防犯灯でまちを明るく

ここ数年、積極的に防犯灯を増設していただいているので、商店街近くや大きい通りなどが明るくなったような気がします。路地や木の茂る場所など死角になりやすい所にも増やしていつてほしいですね。夜道が明るくなれば、ポイ捨てや子どもたちの夜遊び、犯罪なども減り、愛する蕨のまちが更に安心して子育てしやすいまちになることでしょう。



ひろなか ひろたか
肥留川 裕貴さん
北町5丁目

子育て世代支援を実感

市立病院の小児科が午後も診療をしているので、子どもの急な発熱のときなど心強いですね。また、子どもの医療費が入院・通院とも中学3年生まで無料になるそうなので、子育て世代に優しい施策だと思います。育児中の妻が職場復帰することを考えると、保育時間の延長はなにより。もっと時間を延長してもらえると、更に仕事の幅が広がりますね。



市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。
今月は1日、8月は5日です。
時間は午後1時～5時を予定
しています。
ご希望のかたは秘書広報課
(☎433・7701)へ

先月3日で、市長に就任してから3年がたちました。この間、蕨駅のエレベーター設置や中学3年生までの医療費無料化など公約(マニフェスト)の実現とともに、市財政の健全化にも全力を挙げてきました。

その結果、私が市長に就任した時点で約363億円に達していた蕨市の借金(一般会計、特別会計、企業会計、土地開発公社の合計)は、現在、約340億円となり、市長就任以来の3年間で約23億円削減することができました。これは、市管理職の20%削減や職員数の抑制、市長給与の30%削減などによる人件費の削減、土地開発公社の健全化、金利の高い市債の低利への借り換え、大型開発計画の見直しなど市政全般に渡り、経費削減の努力を行ってきた結果です。また、市民の皆さんの市政へのご協力のたまものでもあります。

全国的に市税収入の落ち込みなど地方自治体をめぐる財政状況はたいへん厳しい状況が続くなかで、今後とも、将来を見据えて、マニフェストの推進と財政健全化を両立させるべく、がんばってまいります。

ほっと・エッセイ

市財政の健全化へ～3年間で市の借金23億円削減～

市長 頼高 英雄



感謝の気持ちで作った贈り物 子どもクラブ

錦町児童館

「お父さんの好きな緑色の枠にしよう」「喜んでくれるかな」。聞こえてきたのは、お父さんを思い、父の日のプレゼントに写真立てを作る子どもたちの声。6月12日、錦町児童館で開かれた「大切な人あげるプレゼントづくり」で的一幕です。牛乳パックの土台に布地やフェルトでデコレーション。お気に入りの写真をセットすると、すてきな写真立てが完成しました。6月20日の父の日、「ありがとう」のメッセージとともにプレゼントを受け取る、お父さんのうれしそうな笑顔が目につかぶようです。



「活発で、朝起きてから寝るまで動きっぱなしの兄の光琉。周りに振り回されない、おっとりした弟の健琉。対照的な2人ですが、健琉はお兄ちゃんが好きで、いつも目で追っています。光琉も、お気に入りのアニメのダンスを身ぶり手ぶりで教えてあげたり、やっぱり弟がかわいいようです。そんな2人を見てみると、とてもいとおしい気持ちになります。このまま思いやりのある子に育ってほしいですね」と話す、母親の美智子さん。



優しさの「環境行動」

人分になります。そこで市では、キャップ1000個と、リサイクルフラワールセンターで生ごみを肥料にして育てた花苗1鉢の交換をスタートさせました。交換は4か月に1度、各公民館を巡回。6月18日、旭町公民館で開かれた第1回目の交換では、1万6100個ものキャップが集められました。皆さんの行動がごみの減量や国際貢献、花いっぱいなどのまちづくりなど、何倍もの効果を生むのです。詳細は安全安心推進課生活環境係(☎43・3706)へ

わが家のアイドル

—460—



ひかる 琉ちゃん (2歳)
たけ健 琉ちゃん (11か月)
おおまち 圭祐さん (11か月)
美智子さんの長男・二男
塚越 6丁目

楽しく学ぶ掃除の極意



5月31日、北小学校で「東京デイズニールゾート魔法の教室」が開かれました。この教室は人気テーマパークの清掃係が日々行っている掃除のしかたを伝授する出前授業。1年生92人が参加し、掃除体験を通してきれいにすることのたいせつさやチームワークを学びました。

交流深める福祉の祭り



6月6日、障害者と地域の皆さんの交流を深めるお祭りが、総合社会福祉センターで開かれました。会場では、障害者の皆さんによる太鼓演奏や点字手話の体験コーナーなどのほか、限定「ワラビーパン」の販売もあり、650人が楽しみながら福祉への関心を高めました。

4251人が参加清掃活動



地域の皆さんが協力して清掃活動をする「クリーンわらび市民運動」が6月6日、市内全37町会で行われました。公園などの雑草や空き缶を拾い、集めたごみは合計7580袋。昨年より165人多い4251人の参加者がきれいなまちづくりのために汗を流しました。

アジサイ鮮やかな祭り



500本のアジサイが彩るねむのき公園(中央2丁目)では、6月12日と13日に「あじさいまつり」を開催。模擬店や花の直売のほか、園外に広がるほどの参加者による蔵音頭で輪踊りも行われ、訪れた2000人は、交流を深めながら色鮮やかなアジサイに見入っていました。

中学2年生が職場体験



市内の各中学校では、自分の将来を考えるきっかけづくりに、「ワーキングウィーク」を行っています。第二中学校では、6月14日から18日まで、2年生148人が48の事業所で職場体験。事務や接客など、初めての仕事を通じて、働くことの厳しさ、楽しさを学びました。

このまちに暮らして

キム ジョンアさん



韓国 錦町2丁目・22歳

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ。

【仲間になりませんか】

▶松芳書道クラブ 第1・2・3水曜日 午前9時 松原会館 初心者歓迎<田村・☎445・8026>

▶お琴クラブ 第1・3火曜日 下蕨公民館<向瀬・☎441・4558>

▶新舞会 第1・2・3金曜日 午後1時 南公民館 カラオケの曲で楽しく踊りませんか<森田・☎442・8487>

▶ニューひまわりダンスクラブ(社交ダンス) 土曜日 午後7時半 南公民館 月2500円<鈴木・☎443・1804>

▶笑美(話し方サークル) 第1・3・5日曜日 午前9時45分 南公民館 月1500円<鈴木・☎090・4063・7594>

▶レクダンス・チェリー 火曜日 午後1時半 旭町公民館 月2000円 1か月間無料講習あり<山崎・☎432・4767>

▶蕨警察署少年剣道教室 9月開講予定 小・中学生 約20人<同署生活安全課少年係・三塚・☎444・0110>

▶南囲碁クラブ 火曜日 午前10時 南公民館 無料<井上・☎442・0259>

▶南町ニンハオ校(初級中国語) 月4回月曜日 午後1時45分 南公民館 月2000円<木村・☎433・6137>

▶蕨中東カンフークラブ(中国武術) 土曜日 午前10時 中央東小学校 月3000円 4歳以上 ※7月3日はちびっこカンフー体験(無料)も実施<吉田・☎090・9812・6620>

▶楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4500円<浦島・☎224・5915>

▶英会話ハッピークラブ 金曜日 午後1時半 中央公民館 月5000円 アメリカ人講師による指導<嶋田・☎431・7569>

【ご相談ください】

▶蕨断酒会(酒害相談) 6日＝中央公民館 14日＝南公民館 22日＝旭町公民館 午後6時半<岡田・☎441・3172>

▶アルコール依存症の自助活動 月曜日 午後7時 中央公民館<AA浦和・☎03・5957・3506>

語学教師になることが目標のキムさんは、韓国の首都ソウルのベッドタウン・富川出身です。母国の大学で専攻している日本語を実践的に学ぶため、今年2月に来日。すぐに都内へ引っ越し予定でしたが、緑があり、のんびりとした蕨のまちが気に入って、住み続けています。「自転車でもちなみを見ながら走るのが好きです」と笑顔のキムさん。現在は、2つの仕事をしながら、西公民館の日本語教室に通い、目標の実現に向けて奮闘中です。そんなキムさんの楽しみは、8月に家族が旅行で来日すること。「私が気に入っている市民公園を案内してあげたい」と今から計画を立てています。

ひと 輝いています

全国作文コンクール秀作賞受賞

きた うら 北浦 もも子 さん



視線の先は世界のエネルギー

「世」 界中がもっと協力すればいいのにな」と、まっすぐな視線で話すのは、昨年度に経済産業省資源エネルギー庁が主催した「私たちのくらしとエネルギー」作文コンクールで秀作賞を受賞した北浦もも子さん（錦町2丁目・11歳）です。昨年の夏に応募した作品「太陽や風力を利用した発電について」が、総数2864点の内、上位11点に選出されました。

学校で習った地球温暖化に興味があり、環境に優しい発電に注目しました。そこで目にしたのは、雑誌「ニュートン」の「ゴビ砂漠の半分で太陽光発電をすると、世界中の電気が賄える」という話です。これをきっかけに、北浦さんはあることを思い

つきました。それは「世界共同で太陽光発電をし、自由に使えるようにすること」。環境に優しいだけでなく、エネルギーに関する争いもなくなり、いいことばかり。その思いを作品に表現しました。それから約1年。北浦さんは実現の難しさを感じ、もどかしさから出たのが冒頭のひと言です。なにごとにも前向きで、実際に北海道室蘭市の風力発電機へ足を運び、担当者に質問をするなどエネルギーの「今」を学ぶ研究熱心な北浦さん。将来の夢はまだ思案中ですが、「環境問題や世界全体のエネルギーについて、もっと考えていきたいです」と思いを広げます。そんな北浦さんが、作文に書いた思いを実現させるために、これから一歩ずつ階段を昇り続けていく姿が目に見えます。

ぷらっと・わらび・小さな旅

東小に待望のウサギたち登校

今月は、東ルート17番「東小学校」から、児童たちの笑顔をお届けします。笑顔の理由は、ウサギ。6月22日、塚越小学校に、6羽のウサギの内、3羽がここ東小学校にやってきました。からだです。「だっこするとふわふわしてるよ」と、声をはずませる児童たち。おとし、同校で飼っていた



わらびの野鳥・虫・草

ミツバチの蜂玉

6月9日、突然、市役所周辺に現れたミツバチの大群。しばらくすると、なぜか、近隣にお住まいの大塚良次さん宅の自車の前かごに群がりました（写真）。その数なんと5000匹。これは蜂玉と

呼ばれる現象で、ミツバチは新しい女王バチが誕生する前に古い女王バチが群れの半分の働きバチと引越す習性があり、蜂玉は新居が見つかるまでの仮住まい。結局、この蜂玉は、駆けつけた処理業者が1時間ですべて捕獲。大塚さんもほっと胸をなでおろしました。

ウサギが亡くなり、寂しい雰囲気だった飼育小屋に明るさが戻りました。毎日のお世話は、6年生の飼育係が中心

話をしてくれた塚越小学校の児童に負けないくらい、みんなにかわいがってもらえることでしょう。

で、「ウサギの観察を自由研究の課題にしたい」と意欲満々の様子。夏休み前には、全児童の応募により3羽の名前も決まるそうです。



昼休みになると飼育係にぎわいます